

1 題材名 生活を豊かに ～私のタンブラーデザイン～

2 題材の目標

学校生活で使用するタンブラーの柄をデザインすることに関心を持ち、和の文様をテーマに表現の構想を練り、形や色彩などの造形的な効果を工夫して創造的に表現するとともに、生活を豊かにするデザインのよさや美しさを感じ取り味わう。

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、和の文様をテーマに、学校生活で使用するタンブラーの柄のデザインを考え、表現する活動を行う。制作するタンブラーは、昼食後の歯磨き等の時間に水入れとして使用できるようにすることで、生徒の意欲的な活動を引き出すとともに、A表現(2)の目的や機能を考えて発想や構想する力を高めることができると考える。また、和の文様をテーマとすることで、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きに加え、我が国の美術文化についても実感的な理解を深めることができると考える。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒の多くは、美術が好きで授業にも積極的に取り組んでいる。しかし、題材に関する意識調査(平成28年\*月\*日実施、第7学年\*人)によると、これまでの美術や図画工作の授業で、生活における美術の働きについて考える機会があったと回答した生徒は\*人と少ないことが分かった。一方、身の回りの生活で使用する自分の持ち物について、好みのデザインを選んでいると回答した生徒は\*人であった。このことから、多くの生徒は、自分の持ち物について好きなデザインを選び、おのずと生活を豊かなものにしてはいるが、身の回りのデザインを美術の学習と関連付けて意識することはなく、それらを表現に生かしたり鑑賞したりしていないことが分かった。

(3) 指導観

生徒の実態を受けて、本題材では、身の回りにある生活を豊かにしているデザインについて考え、生活における美術の働きについて意識できるようにする。本題材で扱うタンブラーは、歯磨き用のコップとして学校生活で日常的に使用することができる。また、装飾デザインを行うに当たっては、日本の伝統文化である「和の文様」の形の魅力や構成、色の特徴を学習し、自然物の特徴を生かしたオリジナルの文様のデザインを考えることとする。導入時には、生活を豊かにしているデザインについて参考作品を鑑賞しながら、感じたことや気付いたことを発表し合ったり、コーヒーショップからのメッセージ映像を流したりすることで、自分たちが使うタンブラーの装飾デザインについて関心を高めることができるようにする。次に、表現と鑑賞活動の関連を図った学習過程を工夫する。少人数グループでの学習を基本として、制作途中のデザインやワークシートを基に相互鑑賞する場を設定することで、生徒はよりよいデザインを発想・構想することができる。以上のような工夫を行うことを通して、身近な生活をより美しく豊かなものにしていくために、目的や美しさを考え生活を彩るものを発想や構想する能力を身に付けることができると考え、本題材を設定した。

#### 4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活で使用するタンブラーの柄のデザインに関心をもち、和の文様をテーマに表現方法を工夫して創造的に表現したり、作品のよさや美しさを感じ取り、理解を深めたりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和の文様の特徴を理解し、自然物の特徴を生かした文様の形や色彩、構成について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然物の特徴を生かした文様の形や色彩、構成について、コンピュータや水彩色鉛筆を活用しながら工夫して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意図と創造的な表現の工夫、目的と美しさの調和などを感じ取り味わったり、生活を豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めたりしている。</li> </ul>

#### 5 指導と評価の計画（8時間扱い）

次	時	●学習のねらい・学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 ( )は評価方法
			関	発	技	鑑	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りにある物で、生活を豊かにしているデザインについて知る。</li> <li>・感じたことや気付いたことについて発表し合う。</li> <li>・コーヒーショップで取り扱うタンブラーやカップなどの映像を鑑賞し、タンブラーの柄のデザインをする題材であることを理解する。</li> <li>・和の文様を鑑賞し、洗練された形の魅力や構成、色の特徴を感じ取り、デザインに生かすことを理解する。</li> </ul>	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を豊かにするデザインに関心をもち、理解を深めようとしている。 (観察)</li> <li>○ 参考作品や和の文様の鑑賞を通して、生活を豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めている。 (観察、ワークシート)</li> </ul>
2	2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークシートを基に、自然物の特徴を生かした和の文様を考える。</li> <li>・自然物を参考にして、形や構成を工夫したユニット（全体を形づくる単位）を考える。</li> <li>・「スタディノート」※にユニットを取り込み、画面上で縦方向や横方向につなげて組み合わせる。</li> <li>※つくば市が導入している協働学習ソフトウェア</li> </ul>	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・和の文様を生かしながら、デザイン活動を楽しもうとしている。(観察)</li> <li>・和の文様の特徴を理解し、自然物の特徴を生かした文様の形や色彩、構成について考えている。 (観察、ワークシート)</li> <li>・自然物の特徴を生かした文様の形や色彩、構成を、コンピュータの機能を活用しながら工夫して表している。 (観察、ワークシート、作品)</li> </ul>
3	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>●制作途中の装飾デザインの工夫点を説明し合い、鑑賞したことを基によりよいデザインを考える。</li> <li>・互いの作品を鑑賞し合う。</li> <li>・友人の意見を参考にして、更に効果的なデザインを考え、制作する。</li> </ul>				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意図と創造的な表現の工夫、目的と美しさの調和を感じ取り味わっている。(観察、ワークシート)</li> <li>・友人の意見を参考にして、更に効果的な文様の形や色彩、構成を考えている。 (観察、ワークシート)</li> </ul>
4	6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●輪郭線だけの文様に、自分の思いや考えに合った色彩で着色する。</li> <li>・画用紙に印刷した文様を、水彩色鉛筆を使って着色する。</li> </ul>	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンブラーの柄のデザインを表現することに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。(観察)</li> <li>・自然物の特徴を生かした色彩につい</li> </ul>

		・完成した文様を、タンブラーの型に合わせて切り抜く。				て、水彩色鉛筆を活用しながら工夫して表している。 (観察, 作品)
5	8	●自他の作品を鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取る。	○			・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、理解を深めようとしている。 (観察) ○ ・生活を豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めている。 (観察, ワークシート)

## 6 本時の指導

### (1) 目標

制作途中の装飾デザインの工夫点について説明し合い、鑑賞したことを基によりよいデザインを考える。

### (2) 準備・資料

教師：参考作品，コンピュータ，電子黒板，タブレットPC，付箋

生徒：教科書，資料集，筆記用具，ワークシート

### (3) 展開

学習活動・内容	・指導上の留意点，◎評価（評価方法）
1 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           タンブラーの柄のデザインを鑑賞し合い、よりよいデザインを考えよう。         </div>	・中間鑑賞会のねらいや活動内容について説明し、生徒が本時の見通しをもてるようにする。
2 自分の作品の主題をワークシートで確認する。	・自分の制作活動を振り返り、作品の主題や課題等についてまとめられるように声掛けをする。
3 タブレットPCを使い、グループごとにそれぞれのデザインを鑑賞する。 ・一人ずつデザインの工夫点や悩んでいる点などを発表し、鑑賞者は気付いたことを付箋に書き出す。 青の付箋…デザインの中で特によさや美しさを感じたところ 赤の付箋…こうするともっとよくなるというアドバイス ・付箋を交換し、意見を共有する。	・文様の形や色彩，それらの特徴から受けるイメージなどの視点で鑑賞することを意識できるように説明する。 ・鑑賞したことは、短い文章で付箋に書くように促す。 ・付箋に書くことが目的ではなく、自分の考えをまとめるために行うことを説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ◎他者の意図と創造的な表現の工夫，目的と美しさの調和を感じ取り味わっている。            (観察, ワークシート)         </div>
4 中間鑑賞を基に、よりよいデザインとなるよう検討する。	・鑑賞に深まりが見られる生徒に、デザインのよさや美しさ，改善点等を発表させることで、鑑賞したことと今後の表現のつながりが意識できるようにする。 ・鑑賞会で得たデザインのよさや改善についての意見を生かして、更に検討できるように個別に支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ◎友人の意見を参考にして、更に効果的な文様の形や色彩，構成を考えている。            (観察, ワークシート)         </div>
5 本時の学習のまとめをする。	・学習カードを活用して本時の活動を振り返り、よかった点や課題などの確認ができるようにする。